

「鉄道車両製造事業の再編」に関する 申6号 解明申し入れ交渉 4 回目①

21. 車両製造事業に携わっているJR採用者のライフサイクルについて明らかにすること。
30. 「設計責任者や製造技術者の一体運用」について具体的な考え方を明らかにすること。

《JR 採用者のライフサイクルについて》

- ・現状は新津の中で活躍しているが、今後は、新しい J-TREC の中で経験を積み、ステンレス車両以外の経験や支社、本社を含め、様々な経験を積み、育成していきたい。
- ・プロダクトライフサイクルの観点からメンテナンスの経験も積んでもらうこともある。

《設計の一体運用について》

- ・新津、J-TREC 横浜、本社車両技術センター、支社の設計部門を一体的に運用していく。
- ・設計、製造、車両製造事業全体のマネジメントの仕事があり、希望を聞きながら適任のところに配置していく。
- ・設計部門は製造現場の近くにないとダメ。横浜に吸収でなく、移行後現状を見据えて検討する。

22. 事業移管に伴い発生するJRからの出向の目的および出向者の役割を明らかにすること。また、出向の希望等を把握する方法を明らかにすること。

《なぜ出向でないとだめなのか！出向の目的は》

- ・車両製造事業を「経営の第4の柱」とし、グループとして新たな車両製造の形をつくる。その中で車両製造を J-TREC が担うこととなり、車両製造事業を伸ばしていくためには新津と横浜が一緒になるのが必須である。
- ・会社分割の手法で「転籍」と「出向」という形がある。グループ会社へ新津の良さを継承していくためには、「出向」という形をとった。今時点で「転籍」という考えは会社にはない。

《出向の希望等を把握する方法について》

- ・提案後に個人面談を実施しているため、ある程度支社にて希望は把握している。ただし、施策の中身が分からない中での面談であったため、実態を確認し、支社にて把握方法は検討する。

《職場の一体感について》

- ・現状、J-TREC・E-TEC の現場社員へ説明ができていない状況であり、4月1日までに一体感ができるように会社が J-TREC・E-TEC へ説明をしていく。

23. J-TRECおよびE-TECへ出向となる組合員の出向先選定の基準、希望を把握する方法を明らかにすること。

《出向先選定の基準について》

- ・本人の希望も含めて、活躍してほしいところを判断し、出向してもらう。
- ・希望を把握する方法は、支社にて個人面談の状況を確認し、検討していく。

4 回目②へ続く